

う えだ UEDA

市議会だより

No.54 平成28年2月1日号



真田幸村公がお出迎え

3月定例会は
2月22日(月)
開会です。

本会議の概要	2
委員会審査の概要	4
24人の議員が市政を問う	6
請願・陳情の審査結果	15
高校生が市議会を傍聴	16
議会報告会意見紹介	18
編集後記	20

未来の宝 紹介



いずみ幼稚園

「手と手をつないでいずみっこ!」

子ども達が作った“おまつりたけぐみデパート”がいよいよ開店です。大きい子は小さい子の手を優しくひいてお買い物。店員さんも元気いっぱい!お客さんが来てくれて嬉しいね。

輝く個性が集まったアットホームな毎日に、たくさんの笑顔が詰まっています。



西望幼稚園

「真剣なまなざしがいい」

何かに集中しているときの、何かに夢中になっているときの、子どものまなざしは真剣そのもの、大人の入れない世界。そこで生まれる「集中力」。子どもに教えようとしても、教えられないことはいくらでもある。子どもに教えるのではなく、子どもが自ら学ぶ。集中する力もそのひとつ。毎日の幼稚園生活で、子ども自身が身につけるもの。好きなことなら夢中になる。好きなことなら集中する。

この繰り返しで、子どもの中に、自然に自然に集中する力が育まれる。真剣なまなざしが、それを物語る。

12月定例会

一般会計補正予算を可決

合併10周年記念事業関連の補正予算などを計上



予算 一般会計補正予算は約4億6800万円 余の増額

12月定例会は、11月24日から12月14日までの21日間の会期で開かれました。市長提出議案は一般会計補正予算や条例改正、指定管理者にかかる議案など25件で、採決の結果、すべて可決（または適任）とされました。

また、一般質問には、24人の議員が登壇し、市政の課題について活発な議論が交わされました。

14日の定例会最終日には、NHK大河ドラマ「真田丸」放送に合わせて、議場出席者全員が陣羽織を着用して定例会に出席しました。

一般会計予算は4億6800万円余を増額補正し、総額731億100万円余となりました。これは、昨年度同期に比べて26%の増額となっています。そのほか4つの特別会計と5つの企業会計の補正予算が提案され、全て可決されました。

主な補正内容としては、合併10周年記念事業関連として、記念式典上映映像の制作や市民公募事業の補助など合併10周年記念事業（575万円）、ご当地婚姻届の作成事業（10万円）、真田地域自治センター職員が着用する陣羽

織の借り上げ料として真

田陣羽織DAY（WEEK）プロジェクト（4万円）、

小学生、中学生を対象に

上田産地鶏「真田丸」を使

用した合併10周年記念の

特別メニューを提供する学

校給食特別メニュー（190万

円）、上小地域の高校2

年生を対象に高校生議会

を開催するための経費と

して青少年育成事業（89

万円）などです。NHK

大河ドラマ「真田丸」放送

関連の経費としては、大

河ドラマ関連印刷製本や

都市間連携を進めるため、

松本市と連携し上田・松

本都市間バスを運行する

観光宣伝事業（263万円）、

上田城跡北観光駐車場の

有料化に伴う精算機等

設置費用として都市公園

整備事業（1662万円）

などが計上されました。

このほか、市内のインタ

ーネット環境の構築や庁

内LANセキュリティ対



工事が進む城跡公園北観光駐車場

策などネットワーク安全対策に関わる費用として電算業務管理運営事業(1599万円)。公職選

挙法等の一部改正により、選挙権年齢が満18歳以上

に引き下げられることに伴うシステム改修に係る経費として選挙管理委員会運営事業(492万円)、子

条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定案など全9件を可決

今定例会では、新設条

例1件のほか、既存条例を一部改正する条例8件が提案され、全て可決されました。

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」は、

いわゆる「マイナンバー法」の規定に基づき、市の機関における個人番号の利用及び特定個人情報(個人番号を含む個人情報)

ども・子育て支援新制度移行に伴う子育て施策の充実による私立保育園等への運営費負担金として

民間保育所運営事業(9883万円)などです。

各特別会計では、給付見込みによる給付費等の調整のほか、人事異動等に伴う人件費の調整に

の提供について必要な事項を定めるものです。

「池波正太郎真田太平記館条例中一部改正」、

「真田御屋敷公園条例中一部改正」、「博物館条例中一部改正」は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送開始に合わせて施設整備や展示内容の充実を図っている池波正太郎真田太平記館、真田御屋敷歴史館及び市立博物館・南北櫓・櫓門の各施設に

おける観覧料の改定に伴い、所要の改正を行うも

係る予算が計上されませんでした。

企業会計では、人事異動に伴う人件費の調整に係る予算のほか、市立産婦人科病院事業会計で訴訟案件の和解金等が補正

予算として計上され、それぞれ可決されました。

の。また、「都市公園条例中一部改正」は、上田

城跡公園北側に整備する有料駐車場について、料金徴収区分等を定めるため、所要の改正を行うものです。

【その他可決した条例】

- ・市職員の再任用に関する条例等中一部改正
- ・市税条例等の一部を改正する条例中一部改正
- ・国民健康保険税条例及び介護保険条例中一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例中一部改正

事件決議

公の施設の指定管理者の指定など5件を可決

事件決議では、「上田市塩田の郷マレットゴルフ場」をはじめとする市所有の施設70か所について、平成28年4月1日からの指定管理者を指定するために議会の議決を求める「公の施設の指定管理者の指定」についての議案が可決されました。

このほか、上田市常磐城旧上田警察署跡地を西部公民館整備のために用地取得について「西部公民館整備事業に係る用地取得について」の議案、「出産後の児の死亡事故に係る和解について」は、旧産院及び市立産婦人科病院で発生した出産後のお子様(1歳未満)が亡くなった事故について、それぞれ和解

意見書

介護従事者の処遇改善を求める意見書を国に対し送付

最終日に、厚生委員会から意見書議案が提出されました。「介護従事者の処遇改善を求める意見書」は、我が国では、超高齢化社会を迎えて、介護の需要が高まる中、介護従事者の人材確保・離職防止が喫緊の課題となっており、この課題を解消させるためには、介護

サービスを支える介護従事者の人材確保が不可欠となります。介護職がやりがいと魅力ある仕事として認められるよう、全ての介護従事者の処遇改善を図るための施策を講じることを求めるもので、全会一致で可決されました。



西部公民館建設予定地

【その他可決した事件決議】
・市道路線の認定について

◆人事案件
人権擁護委員の推薦
・中村 彰(大手町)
・安藤美恵(塩田新町)
・宮入美千代(下之郷)

上田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定

問

マイナンバー法について、個人番号及び特定個人情報の取扱いに関して、様々なケースが考えられるが、どのように対応するのか。また、取得した情報の漏えいを防ぐための対策はどうするのか。

答

国が作成したガイドラインやQ&Aに即した対応をしていくが、上田市としての基本方針を定めるとともに取扱規程を作成し、そのなかで対象となる職員を限定すること、取り扱った個人

番号等の取得、保管、利用、廃棄について、記録を残すことなどの安全管理措置を講ずる。

一般会計補正予算

問

2月4日に行われる高校生議会と実施方法はどうか。

答

趣旨としては、模擬議会を開催し、生徒が意見を発表できる場を設け、まちづくりへの参画を促し、市政に参画した喜びを感じられる場とする。ともに、投票年齢が満18歳以上に引き下げられることによる啓発及び若年層の投票率の向上を図るものとする。加えて合併10周年記念事業の一つの事業として位置づけて実施する。実施方法としては、地域の高校8校から30人

の生徒に委員として参加していただき、議場において一般質問の形式で、自分の意見の発表や市への質問をし、市の理事者が質問に対する答弁を行うこととし、傍聴も可能とする。

総務文教委員会

●12月4日に開催し、条例案4件、予算案1件、事件決議案2件、請願3件の審査を行いました。

産業水道委員会

●12月7日に開催し、条例案2件、予算案4件、事件決議案1件の審査を行いました。

の審査概要

池波正太郎真田太
平記館条例中一部
改正

問

料金設定はどの施設の参考にされたのか。また、料金改定により収入増をどのくらい見込んでいるのか。

答

県内同規模の博物館や当館に関連するような施設を参考にした。また、26年度と比較して約140万円

の増収を見込んでいる。

真田御屋敷公園
条例中一部改正

問

施行期日が3月1日となっている理由は何か。

答

今回条例改正により料金改定を行う4館で協議する中、できるだけ早い時期の値上げが望ましいとの意見もあったが、旅行会社等への周知や入館券等の準備などに時間を要することを勘案し、施行期日を設定した。

問

料金改定に際して、改善が感じられるところはあるのか。

答

歴史館南側に駐車場を整備したことにより、利用者が正門から入場できることとなったほか、バスの駐車スペースも確保されたことが大きな改

善点である。

一般会計補正予算

問

松本市との定期観光バス運行開始の考えは。

答

松本市との協議において、今回観光という切り口で平成28年2月から定期バスを運行することとした。その状況によって、今後公共交通としての直通バスを検討する。

問

橋梁長寿命化修繕事業を実施する農林部所管の橋梁はどのくらいあるのか。

答

今年度点検対象の熱泰寺橋を含めて、3橋である。

一般会計補正予算

問 今回増額となっている障害児者等自立生活体験費の内容はどうか。

答 通常、福祉サービスを使う場合、支給区分判定を受け、それに基つき計画を立ててサービスを使っていくこととなるが、その手続きをする前段階で、実際にどのサービスがその方にとって利用していく上で適しているのか、一時的に体験するための事業の経費で、今回の補正により、59人が利用見込みである。

問 補正予算の中で、子ども・子育て支援新制度が始まったことによる予算措置したものはあるのか。

答 保育時間が延長され、保育士の

人件費や処遇改善分を上乗せして運営費を支給していくこととなっていることから、今回それにあわせて私立保育園等への運営負担金を約1億円補正増している。

介護保険事業特別会計補正予算

問 居宅介護サービス給付費が減額補正されている理由は何か。

答 事業所の増加や利便性のよさから、居宅介護サービス利用者が地域密着型サービスに移行したためである。それに伴い、

居宅介護サービス給付費は約3億円の減額、地域密着型介護サービス給付費は2億6千万円の増額となっている。

厚生委員会

●12月4日に開催し、条例案1件、予算案6件、事件決議案3件の審査を行いました。

常任委員会

環境建設委員会

●12月7日に開催し、条例案2件、予算案2件、事件決議案2件、請願1件の審査を行いました。

るなかで再検討していきたい。

一般会計補正予算

問 合併10周年記念事業として「ご当地婚姻届」作成の狙いと効果をどのように考えているのか。

答 婚姻届を提出する時に、少しでも華やかな雰囲気になり、幸せな結婚を願ひいては、地元に着をもつて住み続けてい

ただきたい。そんな願いを持つている。また、婚姻届提出の際に「記念証」をお渡しし、二人の門出をお祝いしたい。

問 「真田丸」放送を控え、市道「檜下泉平線」しなの鉄道踏切の開通は、渋滞の解消や観光客の回遊性に寄与するものと考えられているが、現在の進捗状況はどうか。

答 つい先頃、踏切廃止に伴う代替通路の整備について地

都市公園条例中一部改正

問 上田城跡北観光駐車場において「真田丸」放送期間中は特別期間の対応をすべきではないか。

答 「二本桜まつり」や「紅葉まつり」などのイベント時の利用が一番多いと考え期間設定した。ゴールデンウィークや夏休み期間など、もう一度観光客の入り込みを予想す

公の施設の指定管理者の指定

問 中之条大型作業場及び矢沢共同作業場に関し、保管場所としての利用があるものの、共同作業場としての利用実態がないなかで、今後5年間任せる理由はあるのか。

答 施設の管理は必要であり、市の直接的な経費負担がないことから引き続きお願いするが、この施設のあり方について、譲渡や廃止を含め検討し、指定期間の5年とは言わず、早い時点で結論を出したいと考えている。

る。

24人の議員が市政を問う

12月定例会一般質問要旨

12月定例会では一般質問を11月30日、12月1日、2日の日程で行いました。24人の議員が質問を行い、市政について議論を交わしました。

掲載内容は、質問全体のうちの一部を要約したものであり、質問議員本人が作成しています。

質問全体の内容は、会議録でご覧いただくことができます。会議録は議会事務局、市内図書館及び公民館等で閲覧することができます。また、ホームページでもご覧いただけます。なお、一般質問のようすは上田ケーブルテレビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により生放送及び録画放送を行っていたいております。

一般質問

成瀬 拓議員 (日本共産党)

国民健康保険

問 国民健康保険制度は国民皆保険制度の根幹となる社会保障制度と考えるが、市の見解はどうか。

答 (櫻田福祉部長) 国民健康保険制度は、国民皆保険制度の中核を担い、最後の支え手として重要な制度と考えている。国民健康保険制度の維持のため国、県、市町村がそれぞれの責務を果たすとともに、被保険者の相互扶助による保険制度の仕組みをとることで、持続可能で健全な運営が図られるものと認識している。

問 上田市では短期保険証の留置きが多い。なぜ留置きをしているのか。

もし保険税納付を短期保険証の発行にあわせて求めるためなら、税の納付と保険証の発行は切り離して考え、無保険状態にならないようにするため改善すべきと考えられているか。



答 (櫻田福祉部長) 遅れても納付される方は、短期保険証を郵送している。それらの方以外は、窓口交付対象者として保険証を留置きしている。滞納者の生活状況全般の聞き取りと支払い相談など、折衝の機会を設ける目的で実施している。9月、12月、3月には、夜間臨時窓口や休日窓口を開設し、保険証の交付に努めている。また、高校生世代までの被保険者には、留置きせずに交付している。最終的には有効期間内に郵送等により保険証が届くよう配慮している。国民健康保険証の窓口交付は、公平性を保つこと、厳しい国保財政の税収確保のため、やむを得ない手段の一つであると考えている。

一般質問

林 和明議員 (新生会)

マイナンバー制度

問 個人番号の漏えい対策についてはどうか。

答 (宮川総務部長) 市では基本方針並びに取扱規程を策定した。取扱規程では、1つとして、取扱規程に基づく運用や取り扱いは、1つとして、取扱規程に基づき確認する手段等を定めた組織的安全管理措置、2つとして、事務取扱担当者の監督、教育を定めた人的安全管理措置、3つとして、個人番号を取り扱う区域の管理、機器及び電子媒体等の盗難等の防止などを定めた物理的安全管理措置、4つとして、アクセス制限や外部からの不正アクセス等の防止等を定めた技術的安全管理措置を講ずることを規定しており、策定した基本方針と取扱規程をさらに職員に周知徹底することで情報管理に努めていきたいと考えている。



問 個人番号の仕組みや制度について説明不足と感じるが周知の状況は。

答 (宮川総務部長) マイナンバー制度が複雑でわかりにくい仕組みであることも、ご指摘のように市民の皆さんにご理解いただくについて不十分である原因の一つと考えている。市としては、10月からこの専用電話を開設した。また、「広報うへだ」等にもQ&Aを充実して、できる限りのわかりやすい内容で掲載をし、市民の皆様が制度のご理解が進むように努めていきたいと考えている。

その他の質問項目

- ・サイバー攻撃への対策
- ・別所温泉地域の今後の開発

一般質問

松山 賢太郎議員（新生会）



日本遺産認定

問 「真田丸」放送後の新たな地域振興策で日本遺産認定を積極的に目指せないか。

答 （母袋市長）上田市は各時代の一級の文化遺産があり、重層的な文化、歴史を有しており、日本遺産への登録については「真田丸」以降の地域活性化や、知名度アップにおいて大いに寄与できるものと期待感を持っている。日本遺産の発表があった際にも、研究するように指示は早々に出し、日本遺産登録の前提となる歴史文化基本構想の策定を平成28年度からの実施計画にしっかりと位置づけており、登録認定を目指すことは上田市版の総合戦略に既に記載している。今後、登録認定の準備作業を粛々と進めていきたい。

認知症サポーター養成講座

養成講座

問 サポーター養成講座を充実させ、市独自の認定制度などを設けることができないか。

答 （櫻田福祉部長）認知症サポーターの養成の目的は全国キャラバン・メイト連絡協議会が作成したテキストやDVDを使用し、認知症に対する理解を広く住民に浸透することであり、市では受講者名簿の管理は行っていない。しかし、認知症支援を検討する中では認知症専門人材の育成もしっかりと検討する。新オレンジプランの指針では、認知症サポーターはあくまでもできる範囲で手助けを行うという活動の任意性は維持しつつ、認知症高齢者等に優しい地域づくりの様々な場面で活躍してもらえるようにするとあり、可能な範囲で対応したい。

一般質問

西沢 逸郎議員（新生会）



資源循環型社会形成

問 29年が経過した上田クリーンセンターの今後予想される維持、修繕経費はいくらか、いつまで炉の維持は可能か。

答 （堀内生活環境部長）平均で年間約3億円の維持経費が見込まれ、資源循環型施設が稼動するまで運転・維持に努める。

問 資源循環型施設建設周辺の地域振興策は、ごみの処理量に応じて、地元自治会や関係団体に協力を交付する考えは。

答 （堀内生活環境部長）現在地域振興策のたたき台の検討を進めている。今後関係地区の皆様のご意見・ご要望をお聞きし、具体的な内容を協議していく。協力金については支出の妥当性・必要性について慎重に検討する。

問 上田市のリーダーとして市長は、最重要課題解決に向けて市民目線で、今後どう行動を自ら起

していくのか。

答 （母袋市長）地域の皆様としっかりと向き合いながら対話を辛抱強く重ねていく過程の中で、自ら先頭に立ちながら地域の様々なご意見・ご要望をお聞きし、この地域の将来を見据えたまちづくりについて広く議論を重ねながら、お互いに信頼関係を構築していくことが最も重要であると考えている。

ひとり親家庭への支援

問 市の独自事業でひとり親家庭の児童扶養手当を充実する考えは。

答 （神代健康こども未来部長）国の制度改正を注視し、県と連携をとりながら、経済的支援・就業支援にも力を入れていく。

その他の質問項目

- ・市有財産の利活用
・ラグビーワールドカップ
・ブイイングランド大会の視察結果

一般質問

松尾 卓議員（公明党）



子育て支援

問 現在の子育て支援情報周知の方法はどうか、今後の利便性が高い情報発信のあり方についての考えはどうか。

答 （神代健康こども未来部長）子育て支援情報は、ホームページや紙媒体の他、登録者にメール配信を行っている。子育て世代のスマートフォン利用率は80%以上を占め、いつでも、どこでもアクセス可能なスマートフォン等を活用した情報発信の検討が必要と考える。

予算編成

問 市長は、事業の選択と集中を行いながら行政改革に努め、財政運営を行うとしている。市内各地域ではそれぞれに実情が異なる中、市民の要望に対して施策の選択と集中や予算配分はどのように行っていくのか。

答 （母袋市長）予算編成は、新たに総合戦略に掲げられた事業、また10の重点分野へ優先的に財源配分を行う。予算計上は、今後の事業の市民ニーズや緊急性などを慎重に見きわめ決定していく。

一般質問

渡辺 正博議員（日本共産党）



市民に開かれた
長野大学公立大学
法人化の検討

問 長野大学が「なくてはならない大学」という提示ができるのか。

答（母袋市長）長野大学には1200余名の学生が在学、うち上田市出身者は約2割、県内出身者は約8割。また、卒業生の就職先についても、社会福祉法人や企業など、2割弱が市内に就職、8割弱の卒業生が県内に就職している。長野大学では、多くの地元の学生を受け入れ、育成し地域に輩出し、これまでもその大きな役割を担ってきた。また、経済波及効果は、18・1億円と推計。多くの若者が生活していることは、まちの活性化に寄与し、県外からの受験、入学などで上田市を知ってもらう機会が増え、市のイメージアップにもつながる。地域の皆さんにも支

えられ50年間続いてきたこの大学は、なくてはならない大学と考えている。今後の上田市をどうしていくかというビジョンの中で、長野大学はどのあるべきと考えているのか。

答（母袋市長）当市には、各種専門学校、短期大学、4年制大学といった、高等教育機関が集積することとは、同規模の他の地方都市にはない強みであることから、上田市版総合戦略において「学園都市づくり」を重要なテーマとして掲げた。公立大学法人化することにより、地元をはじめ全国から学生が集まる魅力ある学校づくりを進め、地域の人材を地域で育て、地元の企業で活躍してもらうことで、優秀な人材を大都市圏に送ってしまうのではなく、地域に残ってもらう、地域内での人の循環を生み出したいと考えている。

一般質問

南波 清吾議員（創始会）



市庁舎の耐震化

問 議会初日の全員協議会において、庁舎耐震化補強基本設計の結果について説明を受けた。耐震補強では庁舎自体の長寿命化にならないのに多額の事業費がかかり、見栄えも悪く使い勝手が悪いなど様々な課題・問題点がある。思い切って建て替えを検討すべきと考えるがどうか。

答（小野塚財政部長）耐震診断の結果、耐震指数値が基準値を下回り耐震補強が必要となり、基本設計を実施、その結果、補強プレースや補強壁が庁舎内外至るところに設置され、庁舎入口や執務空間、共用部など職員の執務や市民の利用に大きな影響がある。事業費も実施計画時24億円としていたものが、36億6900万円となった。補強工事しても耐用年数が伸びるものではない等様々

な課題がある。現地での建て替えは、来庁される市民の皆さんの駐車場の確保が必要となるが、空きスペースを利用して建築することで、業務を継続しながらの建て替えは可能と考える。合併特例債の発行期限は平成32年度までで、上限300億円となっており、現在累計312億円余となっている。今後実施計画の事業でも活用が見込まれているので調整が必要となる。今年度中に方向を決定していきたい。

答（母袋市長）庁内で比較検討してみるための作業を指示した。市民、議会の声を聞いて最終的な方針を出したい。

その他の質問項目

- ・サントミューゼ開館1年間の利用状況
- ・上田市版総合戦略

一般質問

金子 和夫議員（新生会）



内水氾濫への対応

問 塩川石井千曲団地では千曲川増水時、水門閉門により消防団による排水作業で内水氾濫に対応して来たが現状はどうか。

答（清水都市建設部長）集中豪雨などで緊急性を要する場合には石井配水樋管操作要領の規定で、水門操作を地元自治会にお願いし平成25年度からは6月から10月まで大型ポンプを設置し緊急時には地元自治会、消防団と情報共有している。

問 大規模の内水氾濫を想定し、千曲川流域で排水水門の設置箇所と内水氾濫発生時の対応は。

答（清水都市建設部長）市内千曲川に水門が設置された配水管は5ヶ所。千曲川水位上昇時は上田市防災計画に基づき対策し、場合により千曲川河川事務所所有の大型排水ポンプを要請する。

公園管理

問 NHK大河ドラマ放送を控え観光客が増加する中、公園管理体制の現状はどうなっているのか。

答（清水都市建設部長）上田地域と丸子地域の都市公園、児童遊園地などの87%を本庁の公園緑地課が所管。真田地域、武石地域は各自治センターが所管している。

問 公園の27ヶ所が本庁管理だが観光客が増した時に上田城跡公園の管理は現状で問題ないか。

答（清水都市建設部長）限られた職員体制で効果的、効率的な管理を心がけ、必要に応じ専門業者への業務委託もする。

問 来年だけでも上田、丸子地域がそれぞれで公園管理を担当できないか。

答（清水都市建設部長）効率性や住民サービス向上を考慮し所管を検討する。

一般質問

古市 順子議員（日本共産党）



介護保険制度

問 利用料が2割負担となった利用者はどのくらいか。介護を制限したという声はないか。

答 （櫻田福祉部長11月1日現在、認定者9046人中、2割負担となったのは719人、8%。サービス利用を見直す必要があるといった声もあった。

問 市独自の介護事業所への聞き取り等の実態調査を行い、特に小規模事業所への支援を充実させることが必要ではないか。

答 （櫻田福祉部長現在県より介護報酬改定の影響について、各事業所に調査票を配布している。県の調査を活用し状況把握したい。小規模事業所への支援は、総合的な検証を行って検討したい。

問 市が実施する「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の進捗状況は。特に担い手の確保、給付単価の設定はどうか。

答 （櫻田福祉部長）モデル事業として、生活支援型訪問サービス事業をシルバー人材センターと連携して、今年度内に実施できるよう進めている。単価の設定は、現在の通所・訪問サービスの単価変更は考えていない。新たなサービスは予防給付費の7割程度を上限として単価設定した。

保育問題

問 公立保育園の非正規職員だけのクラス数は87（45・7%）。少なくともクラス担任の1人は正規職員とすべきではないか。

答 （神代健康こども未来部長）現在の常勤保育士数を維持し、保育園等の統廃合を進める中で、クラス担任の内1人は正規職員を配置できるように努めていく。

一般質問

半田 大介議員（公明党）



身障者等の専用駐車区画

問 車椅子、妊産婦・高齢者等に配慮した専用区画表示は自動車が停車するとこの区画が専用駐車スペースとは分らないのが市公施設、市所有駐車場の大半を占め専用区画を必要とする方が必要ときに利用できない。

答 （櫻田福祉部長）来年は県内外から多くの観光客が訪れる。必要な方が駐車場を利用できる適正利用の推進を市民・駐車場管理者等と呼びかける。

主権者教育

問 高校生議会の意義・目的と小中学生等子ども達に意見を聞く機会をどう考えるか。

答 （母袋市長合併10周年記念事業の一環として、市政への質問・意見の発表から高校生が市政、まちづくりに参画する喜びときっかけづくりになればと考える。小中学校へは自ら出向き、普段の学校生活を送る子どもたちと意見を交わす学校訪問を計画している。今後子どもたちの意見交換は積極的に取り入れる。

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

12月定例会において、本会議を傍聴された方はのべ70人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。

傍聴者の声



- 初めて傍聴させていただきました。CATVなどで放送されているとはいえ、傍聴される方が少ないことに驚きました。実際に見学すると、迫力が違ったりするので、大勢の方に来て観ていただきたいと思います。（40代 女性）
- 長野市から転居してきて6年目になりますが、人柄や伝統文化がとてもよく、上田市に定住したいと考えていましたが、議員の皆様の質問も住民の小さな声を丁寧に取り上げてくださっていると知り、ますますその思いが強くなりました。（40代 男性）

一般質問

土屋 勝浩議員（新生会）

上田市の観光施策

問 「真田丸」の舞台となる大阪天王寺区との友好関係を更に深めるために、友好都市協定を締結していく考えはないか。

答 （母袋市長）大阪市の新市長就任を機に、改めて友好都市協定の締結も含めて連携強化を検討していきたい。

問 上田駅前にあるイトーヨーカドー跡地は、このまま放置しておくとのイメージにも影響する。地権者等と協議をしながら、観光への活用を模索出来ないか。

答 （関商工観光部長）ご指摘の場所は私有地でもあり行政の関与には限界もあるが、市も商工会議所等と連携しながら、地権者の土地利用に向けた情報提供、調整等に支援をしていきたい。

問 現在の路線バスを観光客にもっと利用しやすいように工夫できないか。



答 （関商工観光部長）路線バスは住民の移動手段であるため、観光地等を案内する表示は殆どしてこなかった。今後は、観光地へ行くための乗り場や下車する停留所、所要時間等必要な観光情報を提供できるよう事業者と検討していきたい。

長野大学
公立大学法人化

問 長野大学は公立大学法人化後に改革検討委員会を設置し、6年を目途に改革方針を打ち出すとの提案をしているが、それでは遅過ぎないか。

答 （金子政策企画部長）大学改革の検討には、早目に着手するようこれまで市から大学側に要望してきた。現在、外部委員を含む検討委員会を設置する準備を進めているとお聞きしている。

一般質問

深井 武文議員（上田新風会）

地方創生総合戦略

問 どのような有識者メンバー構成で検討されたか。また、今後の取り組み方針は。

答 （金子政策企画部長）産業界等、金融機関、創業起業支援に取り組んでいる方など各界の代表17名である。今後は具体的施策について国の新型交付金を活用し進める中で、改訂、見直しを検証しながら進めていく。

問 この地方創生総合戦略での教育行政の果たす役割についてはどうか。

答 （小林教育長）人口減少、流出防止と活性化に向け学び育った子供たちが住み続けると共に市外で学んだ者も上田に帰り企業振興に果たす郷土愛を育む面の役割も総合戦略の中で、担っていく。

問 この取り組みはスピードと大胆に優位性が求められるが市長の意気込みと方針はどうか。



答 （母袋市長）人口減少社会を見据え、世代を超えて安心して住み続けられるまちづくりに向けて当面5年という計画期間の中で、検証、見直しと追加も加えながらスピード感をもって積極性と気概を持って進めていく。

育児休業制度

問 少子化対策で安心して働きながら生み育てられる育児休業制度の充実が求められるが、市の改善への取り組み方針は。

答 （神代健康こども未来部長）国もこの制度の充実方針を示しており、県、商工会議所などと連携し制度の充実への働きかけ啓発にさらに取り組んでいく。

一般質問

三井 和哉議員（上田新風会）

上田市社会就労センターあり方検討委員会の答申と今後に関する考え方

問 検討委員会が社会福祉授産事業、就労継続支援事業、上田事業所、武石事業所の4つに整理・分類して検討を行った結果、導き出した答申はどのようなものか。

答 （櫻田福祉部長）社会福祉授産事業については、「社会経済状況の変化に伴い利用者の確保や作業の確保が困難であり、今後その厳しさが見込まれることから一定期間内での終了に向けた取り組みをしていくこと」。就労継続支援事業は、「専門性を生かし実績を上げている社会福祉法人等が市内に数多くあることから、民間による事業実施を優先すべき」との意見であった。事業所別では、上田事業所は「建物の老朽化が進み利用者の減少



にも影響を与えており、今後の受注見込みからも施設を運営していくことは困難となるため、施設の廃止に向けた対応を選択していくこと」。武石事業所は「武石地域で唯一の障がい者の就労支援施設として地域に貢献しており、施設も新しいので障がい者の就労支援施設として特化し、住民との交流に理解があり継続的に事業を実施できる民間事業者による運営していくこと」との意見であった。

問 事業を整理し民間移行を勧奨するなど、私は妥当な答申と捉えるが市はどう判断するか。

答 （櫻田福祉部長）重い内容であり、慎重に議論してもらった答申を尊重すべきと真摯に受けとめており、基本的に答申内容に沿った形で進めたい。

一般質問

小坂井 二郎議員（上田新風会）



有害鳥獣の利活用

問 過去3年間の被害額
はどれくらいか。

答 （保科農林部長）平成
24年～26年まで、毎年2
300万円台の被害報告
がある。JAや森林組合
からの申告による数字な
ので、実際はかなり上回
ると推察している。

問 県は、二ホンジカ駆
除を4万頭としている。
駆除した後の処理は、ど
うしているか。

答 （保科農林部長）自家
処理のほか、その場で埋
設する方法と、共同埋設
地に運搬する方法がある。
埋設に要する時間は木の
根等が障害になり、人力
による作業は相当の重労働
と聞く。

問 山ノ内町では、地獄
谷のスノーモンキーが外
国人観光客の人気を集め
ている。鹿教湯温泉伝説
にちなんで、観光と補償
・解体処理を兼ねた施設
は出来ないか。

答 （保科農林部長）多く
の課題があり、充分な検
討が必要である。

市営住宅の現状

問 市営住宅の、入居募
集の状況はどうか。

答 （堀内生活環境部長）
年4回募集し、26年度は、
55戸の募集に対して応募
が78件だった。

問 老朽化で、募集して
いない住宅の戸数はどう
か。

答 （堀内生活環境部長）
空き家は40戸あり、維持
管理・建替え・用途廃止
等、活用計画を考える。

問 雇用促進住宅が、平
成33年度で廃止が予定さ
れているが、市の対応と
入居者の相談にのれるか。

答 （堀内生活環境部長）
入居者付きで、購入の打
診があったが要件が合わ
ず断った。今後は、民間
に売却される予定と聞い
ている。入居者からの相
談には応ずる。

一般質問

佐藤 論征議員（新生会）



運賃低減バス

問 平成25年10月1日よ
り3年間を実証運行期間
として運行中の運賃低減
バスについて、実証運行
期間が残り10ヶ月となっ
たが、目標の実証運行前
の輸送人員50%増に対す
る目標達成度と実証運行
後の新たな市の負担金は
どのように推移している
か。

答 （金沢政策企画部長）
平成25年10月～3月が5.2
%増、平成26年度が19・
6%増、平成27年4月～
9月が24・4%増と目標
に至っていないが、増加
傾向で着実に効果はでて
いる。運賃低減バスの市
の補填額は、利用者増に
より減少傾向。直近の平
成27年度上半期の負担金
は1150万円。

問 実証運行期間が残り
10カ月を切り、実証運行
期間終了後の運行方針に
ついて、実証運行の検証
を行った上、方向づけて

いかなければならない時
期を迎えているが、実証
運行期間後の運行方針を
いつまでに決定するの
か。

答 （金沢政策企画部長）
乗降調査、利用者意識調
査に加え高校生の通学費
負担軽減効果の検証など
を行い、平成27年度中を
めどに運行方針を示す。

健康幸せづくり
プロジェクト

問 現在健康クラウドシ
ステムの導入を進めてい
るが、導入後市民にどの
ようなメリットがあるか。

答 （神代健康こども未
来部長）特定健診受診者
2万人のデータを分析す
ることにより健康指導の
充実などが図られるうえ、
生活習慣病や医療費、介
護給付費の将来予測が可
能となり、効果的な施策
の事業展開を図れること
から、市民にとってはよ
り健康度向上に結びつく
メリットがある。

本会議を傍聴されたみなさんの声

～ご感想・ご意見をいただきました～

傍聴者
の声



○マイクの使い方が下手な人の声が届かない。質問者は後ろ向きなので、聞こえづらい。はっきり発言してほしい。市側の答弁も言葉を並べるだけでなく、もっと端的に回答してほしい。質問に対してもっと真摯に答えてほしいと思った。(80代 女性)

○大変勉強になりました。また、市民の一員として真剣に考え、協力できることをさせていただき、家族とも話し合いをと思いました。議員さんにおかれましては、もっと突っ込んだ質問があってもよかったかなと思います。ありがとうございました。(60代 女性)

○今回は、質問時間がたくさん余り、早く終了する方が多く残念。持ち時間いっぱい使って、時間を有効に使ってほしいと思います。(60代 女性)

一般質問

池田 総一郎議員（創始会）



全国学力テスト結果

問 今年度実施の全国学力テストの結果として、

上田市の小中学生が全科目で県平均と全国平均を下回ったことについて、

教育委員会の見解を問う。

答 （小林教育長）特に中学生の学力向上が課題だ。改善の余地は多々あるが、全国値は下回ったものの、その差は徐々に縮まっており、様々な取り組みや授業改善などの成果は次第に表れてきたと思う。

問 中学ではノートを一ページ埋めて提出するという「提出ノート」が改善されていない。学力向上に結び付く実効性のあるものになっていないことが問題だ。廃止すべきではないか。

答 （小林教育長）継続した学習習慣を身につける観点からも、内容を大切にした提出ノートとなるよう、各校を引き続き指導していく。

問 授業時間確保の観点から土曜授業や放課後学習導入の考えを問う。

答 （小林教育長）教育課程内で土曜授業を行うことは困難な面がある。しかし、放課後を活用した学習指導とか、公民館や地域など学校以外の者が主体となる土曜学習については研究を要す。

スポーツ推進

問 上田城跡公園内のプールが廃止になったことから、施設稼働率の向上と市民の健康増進のために学校のプールを地域へ開放できないか。

答 （西入教育次長）警備や衛生面などから、現時点では難しいが、今後、公共施設マネジメント方針から、社会体育施設としての機能も兼ね備えた学校プールの整備も選択肢の一つになる。

その他の質問項目

・教科書選定・採択

一般質問

安藤 友博議員（新生会）



障がいのある人に優しいまちづくり

問 市の精神障がい者は平成18年の1137人に対し、平成26年では、2461人と大きく増加している。障がい者を抱える家族会は、その病に

対する知識も少なく、障がいに対する偏見もあり、だれとも相談できない状況も多いと聞く。市としてどのように把握し、その家族会に対しどのような支援をしてきたのか。

答 （神代健康こども未来部長）障がい者を抱えたご家族の状況としては、「当事者にとりどのように接したら良いのかわからない」といった戸惑いや焦り、家族にとり、精神的に厳しい状況に置かれている。家族会では、同じ境遇の皆さんが支え合っていて様々な活動をされており、市では、継続的な財政的支援を行っているほか、会の例会に保健師

が出向き、ご家族の様子を聞いたり、医師を講師とした講演会に共に参加して、情報を共有するなどしている。

問 家族会は、小学校高学年及び中学生に対し、

精神障がいの理解のため、保健学習や総合学習に精神障がいについての学習を取り入れるとともに、当事者に対する偏見についてもいじめと関連して教育してほしいと願っているがどうか。

答 （小林教育長）教材や授業プログラムが少ない反面、教員側に知識が求められる内容であるなどの理由から、均一的な導入は難しいが、精神障がいの偏見をなくすため、「総合的な学習」の時間を活用し、いじめに関連した授業の中に盛り込むなど取り組んでいきたい。

その他の質問項目

・産業の活性化
・六次産業化

一般質問

宮下 省二議員（創始会）



スポーツ施設整備構想

問 老朽化したスポーツ施設整備を教育委員会と

市行政が一体となって進める考えは。

答 （西入教育次長）議員指摘の市の土地利用のゾーニングを踏まえたスポーツエリアを検討する考えは重要な視点である。スポーツ施設整備基本構想の策定にあたっては、市長部局との連携をこれまで以上に図り、検討したい。

問 市の立場からどうか。

答 （金子政策企画部長）市の将来を見据え、市全体の土地利用計画の中で施設の移転整備計画の策定について検討したい。今後のスポーツ振興や上田城跡整備によるまちづくりの観点から、教育委員会と連携していく必要がある。

住民自治組織の設立

問 市の考えが分かりづ

らいこの指摘があるがどうか。

答 （滝沢市民参加協働部長）現状では、地域に浸透するまでには至っていない。引き続き話し合いを重ね、住民組織への交付金制度についても具体化を進め、理解が深まるよう努めたい。

御所及び城下地区 浸水対策

問 御所沢の改修計画や御所沢から千曲川までの水路計画の策定はどうか。

答 （清水都市建設部長）御所沢の現況調査をもとに、今後どのような排水対策が可能か、沈砂池の設置等も含め検討したい。浸水対策は事業費が膨大になるため、補助事業も含め、事業手法等総合的な排水計画を検討したい。

その他の質問項目

・城下小児童の登下校の安全確保と排水対策

一般質問

佐藤 清正議員（創始会）



上田市版総合戦略

問 総合戦略の中で優先して取り組む課題は何か

答 （金子政策企画部長） 人口減少克服に向け人を呼び込む仕事づくりが重要な課題。このために、産業界、大学、金融機関等の民間事業との連携と広域的連携が必要。

問 学園都市づくりの戦略として長野大学の公立大学法人化について市民の理解を得る必要はないか。

答 （母袋市長）新しい大画像を示せる状況になったら市民懇話会的なものを設けることを検討したい。

障がい者差別解消法

問 来年4月1日に施行されるこの法律をどう捉えているか。

答 （櫻田福祉部長）障がいの有無により分け隔てられることなく相互に人

格と個性を尊重し合う社会の実現は、市の標榜する「健康都市うえだ」のまちづくりにつながるものと考えている。

問 職員対応要領の策定の考えはあるのか。

答 （櫻田福祉部長）障がいのある当事者の皆様にもお聞きし、市独自の要領を本年度中に策定する予定である。

地域協議会の検証

問 分権自治を構築するために設置された地域協議会の10年をどう総括するか、また今後の役割は何か。

答 （滝沢市民参加協働部長）地域の実情に即したまちづくりを進める中で大変重要な役割を果たしていると考えている。新たな住民自治組織の設置を進める中で、役割やあり方を検討したい。

一般質問

金沢 広美議員（公明党）



農業政策

問 上田市の農業に対するTPPの影響をどう捉え活かすか。

答 （保科農林部長）市として国の政策大綱に基づく支援策を速やかに実施し、農業者の不安を払拭するように努める。ソフト事業として農地中間管理事業の推進、新規就農者の育成、ハード事業として、農業基盤の整備。

問 六次産業化の目的と考えはどうか。

答 （保科農林部長）地域の活力向上と農林漁業の振興を図ることを目的として六次産業化を積極的に推進。3つの経営体が6次産業化認定事業者。認定事業者への誘導に努めている。

問 ワイン特区に認定されたことによるワイナリー建設に向けた取り組みは。

答 （保科農林部長）就農者のワイナリー建設に対する財政的支援策については、金額も多額となることから、現在検討段階にある。県内外からの就農希望者が速やかに移住できる施策も関係部署との連携を図る。

問 新規就農者等農業の担い手に対する考えは。

答 （保科農林部長）農業65歳以上の従事者が74%を占めていることから、男女を問わず農業経営に意欲的で独立自営を目指す農業者に新規就農・経営継承総合支援事業の周知と活用を推進に努める。

その他の質問項目
・地域の活性化

傍聴者の声 (続き)

本会議を傍聴されたみなさんの声 ~ご感想・ご意見をいただきました~

○議員の方には地域の様子をしっかりと見ていただくとともに、上田市として、県としての5年後、10年後の未来構想を持ってもらい、アンテナを張ってしっかりやってもらいたと思います。(60代 女性)

○2月の高校生議会の参考になればと思い参加させていただきました。普段学校の中にいると地域の街づくりについて考える機会はあまりないのですが、今回の傍聴をよいきっかけとして、地域に目を向けられればと思います。また、学校と地域がもっと連携していければいいのかなと思います。(20代 男性)

○初めて傍聴しましたが、皆様のご意見、それに対しての答弁を聞いて何か物足りなさを感じました。傍聴する側と議会との一体化を感じられれば良いと感じました。(70代 女性)

一般質問

松井 幸夫議員（創始会）



市内情報伝達手段

問 市としての全体的な、または地域別の情報伝達手段の方向性は。

答（宮川総務部長）民間事業者による音声告知放送サービスの展開が難しい中、市としても独自の研究を進めており、早い段階で全体的な方針を出し、順次地域ごとに整理するのがいいの、方法など結論を出していきたい。

置後の効果は。

答（櫻田福祉部長）認知症が疑われる方及びその家族を訪問し、包括的、集中的な支援を実施し、自立生活のサポートを行う、保健師、看護師、社会福祉士と、認知症サポート医師の3名以上の専門職からなる。認知症の確定診断やかかりつけ医との連携に大きな効果が発揮されると期待する。

選挙の投票離れ

問 投票年齢が18歳に引き下げることを受けての対策は。

答（中村選挙管理委員長）高校生に対し、選挙の仕組みや投票参加意識の理解や政治や選挙に関心を持ってもらううち権者教育への取り組みは重要で、有権者となることへの自覚と投票参加を促していきたい。

認知症初期集中支援事業

問 認知症初期集中支援チームの概要とチーム設

その他の質問項目

・コンプライアンス条例

一般質問

久保田 由夫議員（日本共産党）



減災と太陽光発電所

問 減災は、東日本大震災の教訓から災害対策の理念の明確化が強調された。市長の見解は。

答（母袋市長）災害に見舞われる可能性を直視しながら、被害が出ることを想定した上で、被害を可能な限り最小限にとどめて、被害からの迅速な回復を図るといふ考え方をと受けとめている。

子どもの貧困対策

問 子どもの貧困に対する教育長の所見は。

答（小林教育長）経済的支援のみならず、子ども自身が自分に価値があり、社会に必要な人間であるとの存在感が高められるような支援が必要。そのためにも、保護者や教職員など周囲の大人の影響や関わりが重要である。

その他の質問項目

・マイナンバー制度

答（清水都市建設部長）

一般質問

井沢 信章議員（新生会）



教育の中立

問 選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、主権者教育の在り方が課題となり、また教育の中立が改めて問われることになった。上田市教育委員会は、教育の中立についての定義をどう認識しているか、また、このことについてどのような現場指導をしているか。

答（小林教育長）まず、教育の中立についての認識については、教育の政治的中立性について教育基本法により「特定の政党を支持し、またはこれに反対するための政治教育その他政治活動をしてはならない」と規定している。学校の教育活動が特定の政党の思想に偏つたものであってはならないことを明らかにしている。さらに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育長及び

その他の質問項目

・大河ドラマに焦点を当てた観光戦略

教育委員の任命にあたっては、同一政党所属者を半数未満に制限する規定を設け、一つの政党の影響力が教育行政の運営に及ぼされることのないよう配慮している。学校教育は人間形成の基礎づくりに直接影響を与えるものであり、その内容は中立公正でなければならぬ。教育の中立とは特定の党派等に偏った政治的主張や主張が持ち込まれてはならないことだと認識している。教員は中立かつ公正な立場で指導することが求められており、このことは教育公務員としての大原則である。学校では校長が日頃から指導しており、教育委員会としては、校長を通して中立性が保たれているか把握している。

一般質問

尾島 勝議員（新生会）



図書館・体育館施設

問 新耐震基準に適合していない昭和45年建設の上田市立図書館及び上田城跡公園体育館の今後の更新や改修の考えは。

答 （西入教育次長 上田市立図書館については、施設が狭く収蔵スペースが確保できない状況となっている。また、施設の老朽化も進んでいる状況にあると認識している。今後、第二次上田市図書館基本構想を策定するが、その中で施設整備だけではなく、上田市全体の図書館のあり方や運営方法も含めて総合的に検討していく。また、上田城跡公園体育館についても、老朽化による維持管理経費が増大している状況にあるので、現在進めている上田市スポーツ施設整備基本構想の中で、施設を更新する方向で位置づけていく。

変則車線の交差点

問 県外ナンバーの自動車が増加する中、上田市中部の変則車線となっている交差点の安全対策が必要であると考えるが。

答 （清水都市建設部長）松尾町の中央一丁目交差点及び観光会館前の交差点については、両交差点とも、北から南に向かい左側の車線が左折表示、右側が直進と右折表示となっている。今後の安全対策として、松尾町交差点は、以前路面表示は実線矢印2か所であったがこの程工事が終了し、破線予告矢印が3カ所、プラズ設置され認識し易くなった。また、観光会館前の交差点は、近々破線予告矢印の増設工事を予定しており、交差点の手前に車線区分がわかるような看板を設置していきたいと考えてる。

12月定例会 請願・陳情の審査結果

請願

件名	提出者	審査結果
上田市墓地等の経営の許可等に関する条例改正を求める請願（継続審査）	上田仏教会 会長 小根澤浩一氏 （紹介議員 尾島勝議員、土屋陽一議員）	継続審査
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願（継続審査）	自治労上田市職員労働組合 執行委員長 加藤敦氏 （紹介議員 小坂井二郎議員）	趣旨採択
国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願	上田市教職員組合 執行委員長 岩月二郎氏 （紹介議員 久保田由夫議員）	不採択
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願	上田市教職員組合 執行委員長 岩月二郎氏 （紹介議員 久保田由夫議員）	不採択

陳情

件名	提出者	審査結果
介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏	一部採択
議場に国旗の掲揚を求める陳情	市町村議会に国旗の掲揚を求める会 東信支部長 滝沢みすず氏	採 択

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。提出された請願・陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

次回の3月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は、2月23日（火）の午後3時です。

傍聴者の声 (特別編)

市内の高校生が市議会を傍聴しました。

11月30日、12月1日、2日の3日間にかけて行われた一般質問に、市内の高校に通う生徒が傍聴に訪れました。これは、2月4日に開会する合併10周年記念事業の「上田市高校生議会」に参加する高校生が参考のために、実際の一般質問を見学するために傍聴したものです。今回は、実際の市議会を傍聴した高校生の声をご紹介します。



一般質問を傍聴

●初めての傍聴で緊張しましたが、議会の雰囲気ばかり、とても貴重な体験ができました。(女子)

●今まで上田市のことについてあまり考えたことがなかったのですが、今回初めて議場で傍聴して、上田市のことについて考えられ、知ることができてよかったです。(女子)

●初めて議場に入ってみて味わったことのない感じがありました。緊張感が伝わってきました。上田市のこと

をよく考えてくださっていると思いました。(男子)

●自分たちが住んでいる、この上田市をより活気あるものにするためにたくさん

の質問、返答が飛び交っていました。私が印象に残ったことは、上田駅前の駐車場を有料にするかどうかというものです。普段、しなの鉄道をはじめ公共交通機関を利用してはいる我々高校生にとつて上田駅に関する内容はとても興味深く、これからの我々にとつてより

慎重に考えるべきことだと感じました。(男子)

●初めて議会を傍聴したのですが、私たちにとつて身近なサントミューゼの利用であったり、上田駅前の駐車場についてであったり、高校生の立場から聞いても理解できるようなことについて討論していて、私自身、興味を持ちつつ傍聴させていただきました。また、18歳に投票権を引き下げた選挙を初めて行う年代でもあるので、市政についてさら



後日、議場内を実際に見学

に意識を高く持つていきたいと感じました。(女子)

●今回初めて議会を傍聴して、私たちが今、快適に過ごせているのが議会の方々が議論をしているおかげなのだと感じた。今回の経験を生かして、更に深く議会について学んでいきたい。(男子)

●普段経験することのできないこのような場に來たことは、この先自分の人生にとつて大きな影響を与えてくれると思います。私は

生活していく中で、市について考えることはほとんどありません。市の変化といったところ新しく信号機がついたことくらいしか意識していませんでした。しかし、市長をはじめ議員の方々は私たち市民のためにお互いの意見を伝えあい、市の更なる向上を目指していることを強く実感できました。そして、私たち市民も市のことを考えて生活することが必要だと考えました。(男子)

●初めて傍聴しました。テレビを見てみるより生で見ただほうがすごいと感じました。同じ地域に住んでいる方が活躍していてとてもかっこいいと思いました。障がい者用の車を置く数が少ないと思います。(男子)

●様々な問題に対して活発に議論が交わされていた。もう少し具体的なところで議論があれば一層よかったです。(男子)

議会 トピックス

NHK大河ドラマ「真田丸」放送にあわせた活動

『真田丸』放送により、県内外から多くのお客様が上田市に来訪します。上田市議会においても上田市に貢献できる活動を昨年から行っています。そこで今回は、上田市議会観光産業振興議員連盟の取り組みを紹介します。

上田市議会観光産業振興議員連盟（以下、観議連）は市内観光産業の振興を調査・研究する目的で結成された議員有志により活動を行っています。

平成27年3月に議長よりNHK大河ドラマ『真田丸』放送に向けて議会でも何か取り組みができないかとの要請を受け、検討を重ねてきました。

そして、この機会に上田市に訪れる方々を増やし、地元産業の活性化の一助になる企画、活動をしていく目的を確認し『行政視察パック』の開発を推進してきました。

『行政視察パック』は、県内外の地方自治体議会に対して、市内に宿泊していただき、特色ある上田市の取り組みを視察していただくものです。

観議連メンバー希望者により結成された開発委員会は、約8か月にわたり①上田市の特色ある施策の洗い出し②市内宿泊関係団体からの宿泊情報提供③食などの特色調査④情報提供や真田関係自治体交流企画の4つの部会に分かれて活動した結果、地元議員が選んだ上田市の特色ある取り組み12分野と市内宿泊施設を紹介した『行政視察パック』を開発し、大河ドラマ第1回放送後の本年1月初旬より全国約1900の地方自治体の議会にご案内を送りました。

また、平成27年10月に上田市真田町の真田氏本城跡、長谷寺の駐車場整備状況の確認や真田街道推進機構に加盟する群馬県内の真田氏ゆかりの史跡等を、11月には真田信繁公終焉の地であり、真田丸の出城があった



行政視察パックご案内



大阪市天王寺区との交流

大阪市天王寺区を訪問し、信繁公ゆかりの史跡、真田丸跡をそれぞれ視察し、天王寺区においては区長はじめ職員と親善交流を行い、今後の相互の交流について意見交換を行いました。来年度も県外の真田氏ゆかりの地方自治体との交流を行い、多くの方に上田市にお越しいただくための活動をしていきます。

大河ドラマ放送を好機と捉え、多くの皆さんが上田市の魅力を感じて頂けるように、本年一年、上田市議会観光産業振興議員連盟は活動していきます。



上田市議会観光産業振興議員連盟

第5回 上田市議会報告会での意見交換の紹介



昨年、10月19日(月)から23日(金)まで、市内5会場で開催しました、第5回上田市議会報告会には、184名の方々にご参加いただきました。また、今回はこれまでの報告会形式に加え、初の試みとしてテーマ別座集會を実施しました。各会場で行われた意見交換の一部と寄せられたアンケートのご意見を紹介します。

塩田公民館

Q 請願と陳情、趣旨採択と採択の違いは何か。

A 請願は紹介議員が必要だが、陳情は必要ない。採択は、願意をそのままの内容でお聞きし、趣旨採択はその一部のみを採択するものである。



Q 安保法案関係の請願はなぜ不採択になったのか。

A 地方議会としては、不採択とせざるを得ない。

Q 地域内分権はどうか。

A 各地域ごとに異なるが、その形づくりがまだ決まっていない。モデルになる3地区を立ち上げたばかり。取り組みは上田市は先進地である。

Q 長野大学公立化について、議会の対応はどうか。

A 長野大学、市側とそれぞれ懇談会を行った。また、9月定例会最終日に長野大学公立大学法人化研究委員会を作った。大学側からは現状では具体的な改革案が出ていない。

Q 市の消防団への信州応援ショップの内容は。

A 市として県の事業に協力していくという形になる。

上野が丘公民館

Q 消防団員の確保として、応援事業を早く実施してほしい。

A 県の消防団応援ショップ事業は、1月からスタートする。県下では23の自治体ですでに実施していて、議会でも公共施設優待など独自の事業について調査研究していく。



Q ごみの資源循環型施設の建設はいつごろを目途としているのか。

A 市としても地元の方々との話し合いの再開を要請している。意見交換の中で、負担の公平化、ごみの減量化の話がでてくる。市議会としても、執行部任せではなく、一日も早くできるように努める。

Q 「真田丸」放送に対する市の受け入れ態勢は大丈夫か。

A 9億1200万円の予算が「真田丸」関係で計上されており、大河ドラマ館のオープンや城跡公園駐車場の増設などハード、ソフトの両面からおもてなしをしていく。

Q 議員間討議はどのような政策課題を検討するのか。討議の後はどうするのか。

A 議員や常任委員会から政策提言をしているいろいろな議論をしていく場。政策案として市側にゆだねていくことを考えているが、現在特別委員会で検討中である。

丸子ふれあいステーション

Q 長野大学公立法人化問題については、新聞報道でしかわからないが、市議会は慎重に対応してほしい。

A 市側から資料が提出され、議会全体で議論が始まったのは6月の全員協議会の場であった。その後、



現地視察も含め、4回の懇談会を開催し本格的な議論をしてきた。今後の議会の対応としては、9月に長野大学公立化研究委員会をつくり、委員会で研究することとなった。

Q お年寄りから買い物難民という言葉が出ている。小回りの利く公共交通など、運行計画に利用者の声を生かしてほしい。

A 市内では、地域にあった公共交通体系を作って運行してきている。一人ひとりの生活に合わせた交通体制は難しい点もあるが、さらに議会としても改善を図るために研究を進めていく。

Q 空き家対策はどうか。

A 市は空き家対策について条例化に向け前向きに検討している。ただ、私有財産を制限するものであるから、慎重な検討が求められている。さらに、移住定住促進の取り組みも進めており、不動産業界を通じて、空き家バンク制度の運用を図っている。

アンケートに寄せられたご意見（主なもの）

（議会報告会について）

- 良い取り組みだと思います。もっと意見がたくさん出るように工夫を。地域内分権は自治会がただ忙しくなるようなやり方は考えるべき。
- （議会の）行政のチェックだけでは市民が望んでいるものとかい離がある。もっと提案がされないと市民は納得しないのでは。
- 出席者が少ない。市議事を身近に感じられていない。
- 真田丸終了後の対策を考えてほしい。
- 中高生もこられるような内容に。
一般質問で市の今の課題を知る機会がありますが、今日のような議員さんの顔を見ての議会報告会は、とても市政に関心を持つ良い機会だと思います。ぜひ続けてください。



テーマ別車座集会での様子

- 質疑に対して、議員の答弁の難しさが感じられる。報告会の真の目的はどこにあるのか、もう一度検討すべきではないか。

（テーマ別車座集会について）

- 気楽に話し合いができてよかった。テーマを決めて話し合ったので、自分の気づかなかった意見が出て参考になった。
- 良い悪いは別として、参加人数が少なかったため、突っ込んだ議論ができた。参加多数の場合のことを考える必要あり。
- 今回のように気楽に議員の皆さんと語り合える機会をもっと増やしてほしい。車座では議員の皆さんの意見も聞けるし、ざっくばらんな話し合いができると思います。
- 今回の車座集会は大変良かった。市議会議員の皆さんと議論できるのは、自分にとって大いに役に立った。自治会長の任期が終わっても参加したいです。
- 車座集会は良いが、うまくリードしていかないと雑談化してしまう。
- ブレインストーミング調でいろいろな話ができよかったと思います。とても勉強になりました。
- 会場のほかの組の話がうるさかった。会場は別にすべき。参加人数を増やしたい。
- 課題別に話し合う機会は、今後とも企画してください。時間をもう少し多く。

平成28年度

広報・広聴モニター募集のお知らせ

上田市議会では、開かれた議会を目指し、広報・広聴活動の更なる充実に向けて取り組んでいます。その一環として、議会だよりと上田市議会のホームページに関して、市民の皆さんのご意見を参考にし、より充実したものにしていくために、「平成28年度広報・広聴モニター」を募集します。



議会広報特別委員会のようす

○お願いする内容

- 1 議会だよりに関する意見、感想等を所定の様式で提出
- 2 上田市議会のホームページに関する意見、感想等を所定の様式で提出
- 3 モニター会議への出席（年1回程度を予定）

○定員 10人以内（応募多数の場合は、抽選とさせていただきます）

○任期 平成28年5月1日から平成29年3月31日まで

○モニターの要件

上田市に居住する20歳以上の方で、原則として、任期中に発行される議会だより（定例号4回、臨時号1～2回）をご覧いただける方。かつ、上田市議会のホームページが閲覧可能な方。

○謝礼 会議へ出席した際の費用弁償相当

○申込について

所定の申請用紙にご記入いただき、2月29日（月）までに上田市議会事務局まで、郵送、FAXまたは電子メール等でご提出ください。申請用紙は議会事務局へご連絡いただくか、上田市議会のホームページからダウンロードしてください。なお、モニターに決定した方には、後日改めてご連絡いたします。

お問い合わせ、申込先

上田市議会事務局
〒386-8601
上田市大手1-11-16
TEL0268(22)0452
FAX0268(23)5136

平成28年度 上田市議会の開会予定日

- 6月定例会 招集日 平成28年6月6日（月）
- 9月定例会 招集日 平成28年9月5日（月）
- 12月定例会 招集日 平成28年11月28日（月）
- 3月定例会 招集日 平成29年2月27日（月）



請願・陳情の提出期限は定例会招集日の翌日午後3時です。

日程は変更になる場合もありますので、日程の詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

今号では、企画面4面「議会報告会（2面）」「高校生・傍聴の感想」上田市観光振興議員連盟の活動紹介」を掲載しました。市民が議会に関心を持つような紙面づくりを目指しているがなかなか難しい。技術的な問題だけではなく議会の審議が充実しなければ、内容のある議会広報はできないだろうと感じています。例えば、定例会で問題になった事項が議会審議で結論がどうなったのか、市民の疑問を説明することができたのか。さらに一般質問の掲載では、議員一人当たりのスペースを公平にしていますが、かえって何が重要な問題かが見えにくくなっている。また、広報・広聴のあり方を考える上で、議会が存在する限り発行される議会広報。それを担当する委員会は、常任委員会同様に常設的に機能することが求められると思います。

（渡辺正博）